

		長崎県水産部水産経営課	
目的		橋湾広域水産業再生委員会を構成する漁協では、橋湾内において中型まき網・敷網・刺網・小型機船底びき網・一本釣・魚類養殖等が営まれている。今回、漁船保全修理施設の整備を計画している橋湾東部漁協南串山地区は、構成漁協で唯一東シナ海で操業するかじき流し網・はえ縄の沖合漁業が存在し、中型まき網・敷網・魚類養殖を中心に漁業が営まれている。当地区の漁船保全修理施設は、整備から20年以上経過しており修理等を行いながら継続使用しているが、1回の上下架に時間を要するとともに船底形状の変化等により安全な作業実施に不安を抱えている。また、沖合操業船は船型の大型化により当地区施設に上架できないため他港にある造船所まで時間と経費を掛け廻航し上下架を行う状況にある。 転倒防止機能を有した漁船保全修理施設の整備により、上下架作業の安全性を確保するとともに作業時間の短縮と作業効率の向上により漁業者が希望する操業期間を確保することにより産地間競争力の強化と外国漁船と競合する漁場の確保による国際的な漁獲競争力の強化を図る。	
目標		○漁船保全施設利用回数の増	3
事業実施主体		雲仙市	
実施地区		京泊地区/雲仙市南串山町	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		令和2年度	令和5年度
助成金額		25,181千円	
事業計画の内容		転落防止機能を有した漁船保全修理施設の整備 (船台2台、転落防止安全装置2基、軌条2線、巻上機1基、洗浄機1基、既存施設解体)	
評価	取組の目標 (KPI)		
		基準年 (A)	(平成30年度時点) ●●●●千円
		現状値 (B)	(令和5年度末時点) ●●●●千円
		目標値 (C)	(令和7年度末) ●●●●千円
	成果目標	増加率 【=(B-A)/A×100】	
		309.0%	
		増加率 【=(C-A)/A×100】	
		31.8%	
	(1) 現状値の説明	目標：漁船の燃費悪化を防ぐため船底メンテナンスを必要な回数実施し、漁業生産コストの削減を図る。 成果目標：漁船保全施設利用回数の増	
		現状値	(令和5年度末時点) 上架回数106回
		目標値	(令和5年度末) 上架回数195回
	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)	本漁港施設の管理委託をしている橋湾東部漁業協同組合からの使用管理簿をもとに、上架回数を確認した。 ○計画時の過去5年間平均上架回数121回 (H26～H30) ○目標とする上架回数 195回 ○整備後の年度別推移 令和3年度 94回 令和4年度 127回 令和5年度 106回 平均 109回	
		○漁業の生産コストの削減額 ①大型船が他港上架施設利用に係る経費の減 計画 ●●●●●●●●円 再算定 ●●●●●●●●円 ②計画施設整備に伴う作業時間短縮 計画 ●●●●●●●●円 再算定 ●●●●●●●●円	
		新型コロナウイルスによる魚価低迷や世界情勢の影響による物価高及び、福島原発処理水放流に伴う中国の輸入停止措置など漁業者を取り巻く環境は厳しくなっている。今後の先行きの不安等により全体的に出漁を控える傾向があることで、船底メンテナンス回数が伸び悩み、目標回数は達成されなかったが、本事業での整備によって、上架作業の安全性が向上し、作業時間の短縮及び船底付着物（フジツボなど）除去による燃費の改善等漁業生産コストの削減に寄与した。	
	(3) 所見		
	(4) 評価機関への意見等		
今後の改善方向等に関する分析		世界情勢の影響に寄る物価高・燃油高が続いている中で、漁船の燃費悪化を防ぐための船底メンテナンスの必要性は高まっていると考える。今後とも、定期的なメンテナンスのための上架を推進していきたい。	